

仕入ご担当者様 < 社会・福祉 >



晶文社  
既刊のご案内

話題の本です。この夏、  
貴店での販売をご検討  
ください。

FAX03-3518-4944

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11  
TEL 03-3518-4940 <http://www.shobunsha.co.jp>

# 今市女児殺害事件容疑者逮捕

# 子どもを狙った犯罪は どうすれば根絶できるのか…

朝日新聞 6/4

東京新聞 6/10

千葉大名誉教授 (地域計画学)  
**中村攻氏がコメント**  
(防犯効果が高い公園や緑地、  
街路計画づくりの第一人者)

子どもたちを  
犯罪から守る  
まちづくり

キヌタと実践 — 東京・圏域からのレポート

中村 攻



見守り、見通し、  
いまいちど、  
自分のまちを  
見直そう！

東 京 新 聞

## 犯罪呼ばぬ 2つの見



警察官が公園で、大がかりな捜索に役する児童4日、東京新聞記者が撮影。

守り集う場作る  
通し 死角減らす

子どもを狙った犯罪は根絶できるのか。吉田有希ちゃんに連れ去られた直後、本誌記者は現場を検証した中村攻千葉大名誉教授に「地域計画学」で、再発防止の鍵を聞いた。  
(大野 暢子)



千葉大 中村名誉教授に聞く

「暴力的、性的被害に遭った子どもの七割近くが「犯人は、見たことがない大人男」と証言しているんです。」一九八〇年代以降、子どもが被害に遭う事件が続出したのをきっかけに、各地で犯罪実態を調査してきた中村さんが言う。千葉県の小学生約千人に実施したアンケートでは、約40%が「追いかけ回された」「壁うらされた」など回答。東京都の見聞約千五百人へのアンケートでも、約30%が何らかの被害を体験していた。

まちづくりの視点から、地域の実情に合わせた防犯策を提言してきた中村さん、有希ちゃん「なからむら・おきむ」京大大学院建築学専攻博士課程修了。専門は地域計画学で、防犯効果が高い公園や緑地、街路計画づくりの第一人者。著書に「子どもたちを犯罪から守るまちづくり」など。

が連れ去られたのは四週間の二〇〇五年十二月、旧今市市内の通学路歩き、杉木立や未造成地など、地域の「死角」を指摘した。県外ナンバーの車が行き交う道路を「犯罪者が入りやすく逃げやすい」と分析していた。

「地域が伸びてきた登下校時の道の見守り活動についで、大卒の努力が続いている」とおぼろげに「危ないのは通学路だけではない、危険な場所季節や時間帯で変わる」と活動の限界も指摘する。

今も、子どもたちは大人に付添い添って登下校している。子どもが通学する時間「一人の人が社会的弱者はけ口にして、雇用の穴がさうに推すと、社会に反発を持つ人が増える。構造的な成長主義を止め、行き過ぎた競争を是正するよな施策が必要」と、一地域だけでなく、社会全体で犯罪にどうかかると取り除くとの考えを語った。

今市女児殺害 容疑者逮捕1週間

取次・貴店印  
既刊注文書  
ご担当 様

## 子どもたちを犯罪から 守るまちづくり

千葉大学名誉教授  
中村 攻 著

【社会・まちづくり】四六判並製/244頁/本体1,600円  
ISBN978-4-7949-6783-1 C0036  
晶文社営業部 TEL03-3518-4940

申込部数	
冊	
展示方法	
平	棚
台	差し